

新潟県内の活火山



新潟焼山



妙高山

火山に登る その前に

焼山とその周辺の山に登る皆さまへ

新潟地方气象台 新潟県
糸魚川市 妙高市



登山届は
出しましたか？



情報収集は登山前に



山の中は携帯電話の電波が届かない場所が多いです。



登山前に情報収集し、余裕のある計画を立てましょう。

噴火警報とキーワード

情報名	新潟焼山	妙高山
	噴火警戒レベル（キーワード）	警戒事項等（キーワード）
噴火警報 （居住地域）	レベル5（避難）	居住地域 厳重警戒
	レベル4（高齢者等避難）	
噴火警報 （火口周辺）	レベル3（入山規制）	入山危険
	レベル2（火口周辺規制）	火口周辺危険
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	活火山であることに留意

避難経路・規制範囲 などを確認しましょう



新潟焼山の噴火警戒レベル2～3に応じた登山道および周辺の道路規制実施箇所（新潟焼山の噴火活動が活発化した場合の避難計画、令和4年4月、新潟焼山火山防災協議会から抜粋）

突然の噴火に備えて、避難施設や経路を確認しておきましょう。

装備は十分ですか？



地図

ヘルメット



ヘッドランプ

雨具



サングラス



スポーツドリンク・非常食
(おにぎり・チョコ)



救急用品
(ファーストエイド)

当日の気象条件にあわせた登山の計画を立てて、必要な装備を整えましょう。



冬山登山・バックカントリーは 雪崩・滑落等の 危険が伴います



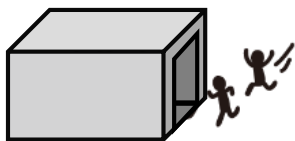
冬の登山は十分な準備をし、油断することなく臨んでください。
初心者による安易な入山は厳に慎んでください。

山の様子や天気 気を配りましょう



少しでも異変に気づいたら、安全を確保しつつ、速やかに下山するか、安全な場所に避難しましょう。

もしも噴火したら…



近くのシェルターや岩陰
に急いで避難しましょう。
ヘルメットをかぶり、マスクや
タオルで口をふさぎましょう。
下山したら、安否を警察
などに知らせてください。



新潟焼山について



新潟焼山は3000年前頃に活動を開始し、何回も噴火を繰り返している、活発な火山です。

3000
年前
1000
年前

(最初の) マグマ噴火

火砕流が日本海に到達。溶岩流が6.5km流下。

1235年? マグマ噴火

1361年 マグマ噴火

火砕流が日本海に到達。山頂に溶岩ドーム形成。

1773年 マグマ噴火

1852-54年

1949年

1962-63年

1974年

1983年

1997-98年

2016年

水蒸気噴火を繰り返す

1974年の噴火では、噴石により3名の登山者が亡くなる被害が発生。

現在

妙高山について



妙高山は約30万年前から活動している火山ですが、有史以降、噴火した記録はありません。

30万
年前



火山活動開始

2万
年前



マグマ噴火を繰り返す

カルデラ形成後、中央火口丘（妙高山溶岩ドーム）ができて、現在の姿になる。

5000
年前

1500
年前

西暦

500年頃 最後の水蒸気噴火

(地質学的に推定されたもので、文字等による記録は存在しない)

現在



～現在まで噴火なし

山に関する情報は こちらから

新潟 山のグレーディング



県内の登山ルートについて、必要な体力と技術・能力を評価しています。登山ルート選びの参考としてください。

火山防災マップ（新潟焼山）



新潟焼山で想定される火山活動や、噴火が発生した際に想定される被害などをまとめたマップを公開しています。

火山・気象の情報は こちらから

火山の情報



新潟焼山

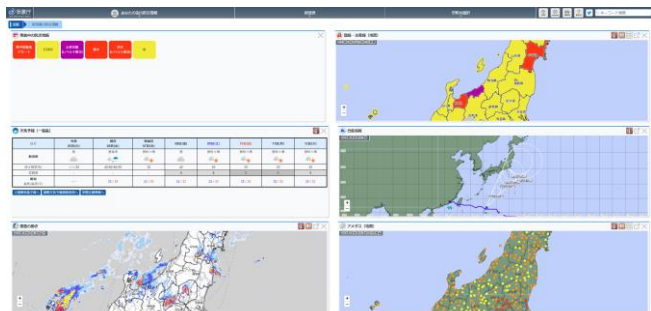


妙高山

気象の情報



新潟地方気象台
ホームページ



異常な現象※を発見したら
地元市町村、警察、気象台に
連絡してください。



※平時とは異なる火山活動に関わる現象で、具体例として、下記のような現象が考えられます。

- ・いつもと異なる場所から噴煙がでている
- ・山から爆発音や地響き、地面の揺れを感じる
- ・噴火・火砕流等の火山現象が発生

連絡先・問い合わせ先

●人命にかかわる緊急事態

警察署 ☎ 110 消防署 ☎ 119

●発見者通報に関する情報

新潟地方気象台 ☎ 0570-015-024(24時間対応)

●入山規制・登山道規制の情報など

新潟県 ☎ 025-285-5511

糸魚川市 ☎ 025-552-2311(消防本部)

妙高市 ☎ 0255-72-5111

※**緑文字**は火山の異常現象発見時の連絡先（いずれか1ヵ所への連絡で構いません）